

就職活動はどんなスケジュールでしたか？

昨年の6月、合同説明会に参加したのが最初のアクションです。11月にコンピュータサイエンス系の研究室に入ることが決まったので、就職先としてIT業界を強く意識するようになり、情報収集やエントリーを始めました。12月から1月ごろは説明会参加や、早い企業では面接も始まっていたので一番忙しかったですね。3月に志望企業から内々定を貰い、そこで就職活動を終わりました。

志望業界と内定先は？

IT業界といっても、ITコンサルやSierなど様々な業態や企業があるので、できるだけ多くの企業を見るようにしました。多くの企業を見るうちに、「渡された仕様書をもとにシステムを作る」だけでなく、「上流からコンサルティングや設計に携わることで、顧客企業の経営に影響を与えるような仕事をした」と、自分の志向を固めることができました。内定承諾の決め手は、企業の規模感です。いわゆる大企業より人



数も少ない方が、より仕事のチャンスが巡ってきます。また、プロジェクトアサイン制のため様々な経験が得られるなど、そのような環境下で自分を磨き続けたいと考え、フューチャーアーキテクトへの入社を決めました。また、同社はITコンサルタント企業でありながら、技術に対するこだわりが非常に強いという点にも惹かれましたね。

理系ナビのサービスはいかがでしたか？

フューチャーアーキテクトが講師を務めていた「ITコンサルタント職種研究セミナー」に参加しました。少人数での座談会もあり、現役社員からいろいろな話を聞け

case

02

理系の就職

いろんな会社を見て、自分の進むべき方向を見極める

慶應義塾大学 理工学部 管理工学科 4年 山上 燦

【就活データ】

- 就活開始：2010年6月
- 就活終了：2011年3月
- 志望業界：IT
- エントリー：100社
- 面接社数：30社
- 内定社数：1社
- 内定先：フューチャーアーキテクト株式会社

たのがよかったです。OB訪問をしないと聞けないような話を気軽に聞くことができました。

就職活動で苦労したことは何ですか？

実際のところ、あまり辛いと思うことはなく、比較的楽しみなが就職活動をできたと思います。いろんな会社、社会人と出会い、話を聞いたのは刺激的な経験でした。

とはいえ、忙しい時期は1日で4社面接があるなど、事前準備もしなければならぬのでスケジュール管理が大変でした。対策として行ったのは、エクセルでスケジュール表を作成し、企業ごとに次のアクションや面接で聞かれた質問といった情報をまとめること。おかげで、スケジュール管理や企業情報の振り返りなどを効率的に行うことができました。

就職活動で大切に感じたことは？

早めに動いて、いろんな会社を見ることです。たくさん会社を見た方が、「自分に何が向いてい

るのか、何がしたいのか」といったことがより明確になります。それに、あまり志望度が高くなかった会社でも、説明会に行ってみたら「面白い会社だな」と思うこともあります。

情報収集の際にこだわったのは、「行きたい」と思った会社を徹底的に研究することです。IR情報などを読み込んで、面接の際に「ちゃんと見ているな」と思われるのは非常に大切。今後の戦略やビジョンなどもしっかり把握し、自分の目指す方向性と合っているかを見極めました。

これから就活に臨む読者へのアドバイスをお願いします

やはり早めに動いて、いろんな会社を見てほしいですね。そして、場数を踏むことも大事です。面接はいくら準備しても緊張しますし、経験しなければ分からないこともあります。会社のなかには面接内容のフィードバックをしてくれる所もありますので、本当に行きたい会社の面接に挑む前に、場数を踏んでおくことをお勧めします。